

一般社団法人日本鉱物科学会
2020年度第1回定例理事会 議事録

【1】招集年月日：2020年9月4日(理事会招集手続きは、理事及び監事全員の同意があり省略する。)

【2】開催年月日及び時刻：2020年9月18日(金)13時30分～15時00分

【3】開催場所：東北大学理学部理学合同A棟4階402室 日本鉱物科学会事務局
980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

【4】理事総数および定数：総数22名，定足数12名

【5】出席理事数：22名

宮脇律郎，大和田正明，安東淳一，阿部なつ江，井上 徹，池田 剛，磯部博志，
大藤弘明，鍵 裕之，片山郁夫，川本竜彦，河上哲生，栗林貴弘，黒澤正紀，
辻森 樹，土屋範芳，永蔭真理子，長瀬敏郎，伴 雅雄，三宅 亮，本尚義，
吉朝 朗

【6】欠席理事数：0名

【7】出席監事：小暮敏博

【8】オブザーバー：(理事以外の前期幹事，前期委員長等報告事項報告者)

出席：Elements編集委員会森下知晃Elements幹事，JpGU選出プログラム委員門馬綱一委員，
教育普及委員会林信太郎委員長，新鉱物・命名・分類委員会門馬綱一委員長，
博物館委員会坂野靖行委員長，IMA小委員会・学術会議大谷栄治委員長，日本鉱物科学会
論文賞選考委員会富岡尚敬委員長，JpGUダイバーシティ推進委員会浜田盛久委員

【9】議事概要

宮脇理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，黒澤正紀理事が議長に選出された。
黒澤議長から，2020年8月19日に理事会招集手続省略の同意依頼を行い，9月4日に理事22名
全員の同意と監事の同意が得られたので，本日第1回定例理事会を開催することになった旨の
報告があった。

次に，決議定足数と出席者数の確認を行い，理事22名全員の出席を確認したので，定款30条に
より理事会が成立した。このことを受け，黒澤議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用
いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像
が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを
確認し，2020年度第1回定例理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で長瀬敏郎理事が書記として選出された。

I. 審議事項

第1号議案 会長及び副会長の選定（黒澤議長）

黒澤議長から、宮脇律郎理事を会長（代表理事）に、大和田正明理事を副会長（代表理事）に選定することについて審議がなされ、全会一致を以て可決承認された。なお、被選定者は、席上その就任を承諾した。任期は2022年定時総会終結の時までである。

第2号議案 幹事、各委員会委員長、委員承認（宮脇会長）

宮脇会長から以下の(1)から(15)までの幹事、各委員会委員について説明があり、各幹事、各委員会委員長、各委員について異議なく承認された。

(1) 幹事会メンバー（幹事は、理事会の議を経て会長が委嘱する）

会長：宮脇律郎(理事)、副会長：大和田正明(理事)
庶務幹事：黒澤正紀(理事)、会員幹事：阿部なつ江(理事)、会計幹事：栗林貴弘(理事)
行事幹事：磯部博志(理事)、和文誌編集幹事：長瀬敏郎(理事)、英文誌編集幹事：吉朝朗(理事)、
渉外幹事：永嶋真理子(理事)、広報幹事：大藤弘明(理事)、
Elements幹事：森下知晃(特務幹事細則等検討担当)：大和田正明(理事、副会長)、
地球惑星科学連合学会選出プログラム委員：門馬綱一(副)・西原 遊(副)、
地惑連合連絡担当：阿部なつ江(理事)、
三鉦連絡委員：黒澤正紀(理事、庶務幹事)、磯部博志(理事、行事幹事)

(2) 行事委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した行事幹事があたる。本委員会の委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：磯部博志(行事幹事・理事)、副委員長：池田 剛
委員：越後拓也、岡本 敦、鍵 裕之、片山郁夫、瀬戸雄介、寺崎英紀、湯口貴史

(3) 岩石鉦物科学編集委員会

編集委員長は、和文誌編集幹事が担当し、会長が指名して、理事会に報告する。
編集委員は、編集委員長が指名し、会長がこれを委嘱する。

委員長：長瀬敏郎(和文誌編集幹事・理事)、副委員長：高澤栄一
委員：阿部なつ江、荒川洋二、遠藤俊祐、大藤弘明、掛川 武、興野 純、
久保友明、栗谷 豪、栗林貴弘、小暮敏博、近藤 忠、下林典正、
中村美千彦、永嶋真理子、野口高明、瀧田麻希、林信太郎、伴 雅雄、
坂野靖行、星出隆志、三宅 亮、宮原正明、門馬綱一、塚本尚義、
吉朝 朗

(4) JMPS編集委員会

編集委員長および英文誌編集幹事は、会長が指名して、理事会に報告する。
編集委員は、編集委員長が指名し、会長がこれを委嘱する。

委員長：吉朝 朗(英文誌編集幹事、理事)、副委員長：M. Satish-Kumar、永井隆哉、河上哲生
委員：伴 雅雄、Kaushik Das、榎並正樹、福山繭子、市山祐二、井上 徹、
加藤文典、河野元治、木村純一、小木曾哲、栗林貴弘、興野 純、
三河内岳、門馬綱一、中村美千彦、小畑正明、大谷栄治、奥寺浩樹、
大和田正明、佐藤 努、佐脇貴幸、篠田圭司、下林典正、杉山和正、
角替敏昭、宇都宮聡
Jung Ho Ahn, Richard J. Arculus, D. Chandrasekharam, Ming Chen, Moonsoop Cho,
Alexander Khanchuk, Anhuai Lu, Joseph R. Smyth

(5) 渉外委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した渉外幹事があたる。本委員会の委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：永嶋真理子(渉外幹事・理事)

委員：栗谷 豪(火山)、辻森 樹(地質)、川添貴章(高圧)、森下知晃(岩石)、宇都宮聡(環境)

(6) 広報委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱した広報幹事があたる。本委員会の委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：大藤弘明(広報幹事・理事)

委員：糺谷 浩(HP担当)、斉藤 哲(JpGUブース展示担当)、石橋秀巳(Twitter担当)、
浜田麻希(Facebook担当)、黒澤正紀(庶務幹事)

(7) Elements 委員会

委員長には、正会員、名誉会員の中から理事会の議を経て、会長が委嘱したElements 幹事があたる。役職指定委員以外のその他の委員は、委員長が指名し、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：森下知晃(Elements幹事)、副委員長：瀬戸 雄介

委員：宇都宮聡、奥村 聡、片山郁夫、興野 純、小松一生、新名良介、橘 省吾、寺崎英紀、
中野伸彦、門馬綱一、横山 正(サイエンスボード)

Society News Editor：森下知晃

Executive Committee Member：宮脇律郎(会長)

学会役職指定委員：黒澤正紀(庶務)、長瀬敏郎(GKK)、吉朝 朗(JMPS)、磯部博志(行事)、
永嶋真理子(渉外)、大藤弘明(広報)

(8) 将来企画委員会

委員長は副会長が担当し、会長が指名する。副委員長は委員の中から委員長が指名する。委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：大和田正明(副会長)、副委員長：大藤弘明

委員：森下知晃、阿部なつ江、井上徹、鍵裕之、中村美千彦、河上哲生、中野伸彦、永嶋真理子
諮問に係る幹事：黒澤正紀(庶務)、栗林貴弘(会計)、長瀬敏郎(和文誌)、吉朝朗(英文誌)
オブザーバー：宮脇律郎(会長)

(9) 新鉱物・命名・分類委員会

委員長は、会長が指名する。本委員会委員長は、IMA 新鉱物・命名・分類委員会の日本代表委員を兼務する。委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、会長がこれを委嘱する。

委員長：門馬綱一

委員：上原誠一郎、小林祥一、清水正明、白勢洋平、浜根大輔、坂野靖行、豊 遙秋、松原 聡、
宮脇律郎

(10) 教育普及委員会

委員長は、会長が指名する

委員は委員長によって正会員、名誉会員の中から指名され、会長がこれを委嘱する。

委員長：林信太郎、委員：貴治康夫、宮嶋 敏、川手新一、長瀬敏郎

(11) 博物館委員会

委員長は、会長が指名する。本委員会委員長はIMA 博物館委員会の日本代表委員を兼務する

委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、会長がこれを委嘱する。

委員長：坂野靖行、委員：宮脇律郎、長瀬敏郎、森 康、小河原孝彦

(12) 櫻井賞選考委員会

委員長は、理事会の議を経て会長が委嘱する。

委員は、委員長が推薦し、理事会の議を経て会長がこれを委嘱する。

委員長：松原 聡 委員：清水正明、長瀬敏郎、坂野靖行、宮島 宏、宮脇律郎

(13) 研究発表優秀賞選考委員会(10名)

委員の任期は2年とし、選任後2年以内に終了する事業年度のうちで、選考結果を会長に報告終了までとする。

以上から、現在の継続委員の任期は、今年は2020年9月17日の選考結果を会長に報告した日までとなる。2020年5月23日の第2回理事会で承認された5名の任期は、2020年、2021年年会の審査を担当して2021年9月18日(予定)の年会結果報告までとなる。2021年の半数交代委員は次期吉村委員長により指名され、2021年5月の定例理事会の承認を受ける。

委員は委員長によって、一般会員の中から指名され、理事会で承認を受けた後、会長がこれを委嘱。

委員長：新名良介(任期：2020年9月17日の選考結果報告終了まで)

副委員長：吉村俊平(申し合わせにより次期委員長、任期：2021年9月18日選考結果報告終了まで)

委員：<2021年9月18日まで>：篠崎彩子、鹿山雅裕、富岡尚敬、中村佳博

<2020年9月17日まで>：亀井淳志、森下知晃、石橋秀巳、瀬戸雄介

(14) 2021年年会運営委員会

委員長：井上 徹、副委員長：片山郁夫

委員：安東淳一、柴田知之、早坂康隆、宮原正明、川添貴章、DAS Kaushik、大川真紀雄、柿澤 翔、芳川雅子、横山 正、前田 誠、河田尚美 以上14名

磯部博志行事委員会委員長、池田 剛行事委員会副委員長

(15) 各WGについて以下のとおり、宮脇会長から補足説明があった。

- 1) 会員区分等検討WGについて、前佐藤努特務幹事(会員増対策担当)からの答申(年会開催中の展示と業界セミナー提案)を実施するのに、今年度はオンライン年会で実現できなかったこと、来年広島大学での年会の見込みを考えて具体的な動きを待つこととなったことから、今期は任期満了として特務幹事(会員増対策担当)は継続しない。なお、今後、会員区分等検討WGを特務幹事(会員増対策担当)の下に設置するかどうかは、必要に応じて検討する。
- 2) 会計問題WGについても任期満了とする。今後は、必要に応じて将来企画委員会で設置し、委員を選出する。
- 3) 新設WG：今後、必要に応じて設置し、委員選出をする。

第3号議案 研究部会「岩石 - 水相互作用」の設置申し入れの件 (土屋代表・理事)

土屋理事から第六期(2020年10月1日~2022年9月30日)研究部会「岩石 - 水相互作用」継続設置設立趣意の説明があり、継続設置は異議なく承認された。

第4号議案 2021年年会開催日程について

(磯部行事幹事・理事、説明：井上2021年年会LOC委員長・理事)

磯部行事幹事より、2020年8月29日の第4回理事会にて、2021年年会開催地が広島大学東広島キャンパスに決定した経緯の説明がなされ、続いて井上2021年年会LOC委員長により、以下の2021年年会開催日程案と2020年度定時総会開催日案が提示され、異議なく承認された。

2021年年会開催日程案：2021年9月16日(木) - 18日(土)

2020年度定時総会開催日：2021年9月17日(金)、場所：広島大学東広島キャンパス理学部棟大講義室

なお、井上LOC委員長から、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン配信併用を含めた形式で開催できるよう準備する旨、報告があった。

なお、宮協会長から 年会開催中の展示と業界セミナーの件、一般普及講演開催の件、今後の年会のあり方としてのオンライン配信併用形式年会開催の件、について検討するよう指示があった。また、吉朝理事からはユネスコの2022鉱物学年に関連する行事を2021年の一般普及講演に盛り込む提案も出され、井上LOC委員長から、今後行事委員会と共に検討していくことが述べられた。

第5号議案 2022年年会開催地決定のためのスケジュールについて（磯部行事幹事・理事）

磯部行事幹事より、2022年年会開催地について現在検討中であり、開催地検討期間に猶予が必要との説明があり、開催地決定時期について、年会準備の都合上遅くとも2020年の年内に臨時理事会（WEB）を開催して開催地を決定する提案がなされ、異議なく承認された。

第6議案 JpGUダイバーシティ推進委員会委員推薦の件（土屋委員・理事）

現委員の土屋理事と阿部理事(JpGU連絡委員)から、JpGUダイバーシティ推進委員会委員について既にJpGU当委員会委員である浜田盛久会員(JAMSTEC)を今回土屋委員の交代委員として当学会から推薦することについて説明がなされ、学会推薦は異議なく承認された。

第7号議案 委員会委員選出方法の件（大和田細則等検討幹事・理事）

大和田細則等検討幹事から、宮協会長の意向を受け、学会運営の効率化を目指すために各種選考委員会委員決定方法を現状の理事互選による選出から、委員長が委員を指名する方法へ変更する提案とそれに伴う各委員会内規、規定の改正提案があり、異議なく承認された。

改正箇所

1. 細則等検討委員会委員（新規4名選出）

<細則等検討委員会内規改正案>

第4項-(2) 委員は、委員長理事が正会員、名誉会員の中から委員候補者を選挙で選定して指名し、理事会での承認を経て、会長がこれを委嘱する。

附則

令和2年(2020年)9月18日改正

2. 日本鉱物科学会賞選考委員会委員(11名選出)

<日本鉱物科学会賞規定 第5条改正案>

第5条 委員会は11名の委員で構成する。

~~1. 委員長は委員の中から会長が指名し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。~~

~~2. 11名委員のうち、1名は会長とする。残り10名は委員長理事が正会員、名誉会員の中から指名し、理事会の承認を経て候補者を選挙で選定して(なお、平成28年度に限り任期3年目の理事が担当する)、会長がこれを委嘱する。但し委員のうち、2名以上は理事とする。~~

~~3. 委員の任期は、委嘱された日から新委員の選出が行われる第1回定例理事会の日から表彰を行う定例総会終了時までとする。再任を妨げない。~~

~~3. 委員長は委員の中から会長が指名し、副委員長は委員の中から委員長が指名する。~~

附則

令和2年(2020年)9月18日改正

3. 渡邊萬次郎賞選考委員会委員(半数交代新規4名選出)

< 渡邊萬次郎賞規定第5条改正案 >

第5条 委員会は8名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長理事が正会員，名誉会員の中から委員候補者を指名し，理事会での承認を経て選挙で選定して，会長がこれを委嘱する。但し委員のうち，2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし，選任後2年以内に終了する事業年度のうち，最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し，副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

附則

令和2年(2020年)9月18日改正

4. 日本鉱物科学会論文賞選考委員会委員(半数交代新規5名選出)

< 日本鉱物科学会論文賞規定 第6条改正案 >

第6条 委員会は10名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長理事が正会員，名誉会員の中から委員候補者を指名し，理事会での承認を経て選挙で選定して，会長がこれを委嘱する。但し，委員のうち，2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし，選任後2年以内に終了する事業年度のうち，最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し，副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

附則

令和2年(2020年)9月18日改正

5. 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会委員(半数交代新規5名選出)

< 日本鉱物科学会研究奨励賞規定 第5条改正案 >

第5条 委員会は10名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長理事が正会員，名誉会員の中から委員候補者を指名し，理事会での承認を経て選挙で選定して，会長がこれを委嘱する。但し，委員のうち，2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし，選任後2年以内に終了する事業年度のうち，最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し，副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

附則

令和2年(2020年)9月18日改正

6. 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会委員(半数交代新規5名選出)

< 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞規定第5条改正案 >

第5条 委員会は10名の委員で構成する。

1. 委員は、委員長理事が正会員，名誉会員の中から委員候補者を指名し，理事会での承認を経て選挙で選定して，会長がこれを委嘱する。但し委員のうち，2名以上は理事とする。
2. 委員の任期は2年とし，選任後2年以内に終了する事業年度のうち，最終のものに係る定例総会終了時までとする。毎年その半数を交代する。再任を妨げない。
3. 委員長は原則として2期目の委員の中から会長が指名し，副委員長は原則として1期目の委員の中から委員長が指名する。

附則

令和2年(2020年)9月18日改正

第8号議案 各委員会委員長承認の件（宮脇会長）

宮脇会長から第7号議案（各委員会内規，規定の改正）が承認されたことにより、会長が委員長を指名し、委員長が委員を指名するように改正された説明があり、これを受けて、今回会長により指名された以下(1)から(6)の各委員会委員長について審議され、異議なく承認された。

なお、委員指名に当たっては、阿部理事と大藤理事から、それぞれ男女平等参画や分野の偏りについての配慮の要望があった。さらに宮脇会長から委員の偏りについても補足説明があり、大和田副会長から今後理事会で調整すると説明があった。委員長指名の委員承認については年内に臨時理事会を開催して審議の後とすることになった。

(1) 細則等検討委員会

委員長：大和田正明（特務幹事細則等検討担当，理事）

委員：（4名委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

(2) 日本鉱物科学会賞選考委員会

委員長：土屋範芳（会長指名：前年度副委員長）

委員9名：（委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

宮脇律郎(会長)

(3) 渡邊萬次郎賞選考委員会

委員長：黒澤正紀(理事)→委員長は原則2期目の委員の中から会長が指名。申合わせにより前年度副委員長)

副委員長：（1期目の新委員から委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

委員：（2期目継続委員4名の内、委員長以外の3名）：鍵 裕之(理事)，永井隆哉，宮脇律郎(理事)
（1期目委員4名選出）：（委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

(4) 日本鉱物科学会論文賞選考委員会

委員長：富岡尚敬→委員長は原則2期目の委員の中から会長が指名。申合わせにより前年度副委員長

副委員長：（1期目の新委員から委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

委員：（2期目継続委員5名の内、委員長以外の4名）：磯部博志(理事)，大藤弘明(理事)，黒澤正紀(理事)，永井隆哉
（1期目委員5名選出）：（委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

(5) 日本鉱物科学会研究奨励賞選考委員会

委員長：長瀬敏郎(理事)→委員長は原則2期目の委員の中から会長が指名。申合わせにより前年度副委員長

副委員長：（1期目の新委員から委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

委員：（2期目継続委員5名の内、委員長以外の4名）：川本竜彦(理事)，高澤栄一，辻森 樹(理事)，伴雅雄(理事)
（1期目委員5名選出）：（委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

(6) 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞選考委員会

委員長：佐藤 努→委員長は原則2期目の委員の中から会長が指名。申合わせにより前年度副委員長

副委員長：（1期目の新委員から委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

委員：（2期目継続委員5名の内、委員長以外の4名）：富岡尚敬，長瀬敏郎(理事)，宮脇律郎(理事)，門馬綱一
（1期目委員5名選出）：（委員長指名，次回臨時理事会承認を経て会長委嘱）

第9号議案 事務局と雑誌出版の件（宮協会長）

宮協会長から、現在の学会財務状況の厳しい現状に鑑み、将来に向けて学会機能維持のため早急に方策を検討していく必要性、具体的には、学会事務局と雑誌編集出版についてそれぞれ庶務幹事、編集幹事、会計幹事を中心に2年以内に実施できるよう目指すことの説明があり、この実施のために検討を開始することについて承認された。

第10号議案 臨時理事会、第2回理事会、第3回理事会、総会開催日の件（黒澤庶務幹事・理事）

黒澤庶務幹事から今後の理事会開催予定について説明があり、以下について承認された。

- (1) 2022年年会開催地決定と各種委員会委員長委員指名を審議する臨時理事会は、ZOOMにより2020年11月以降12月中旬までに開催することが承認された。
- (2) 2020年度第2回理事会は、2021年5月29日(土)に国立科学博物館会議室を拠点としZOOM会議を併用にて開催することが承認された。
- (3) 2020年度第3回理事会開催日について、宮協会長から2021年8月21日(土)または31日(火)が提案され、年内の臨時理事会で決定する旨説明があり、承認された。
なお、2020年度定時総会開催は第4号議案で承認されたように、2021年9月17日(金) 広島大学東広島キャンパス大講義室で開催する。

その他

大藤広報委員長から、一般普及講演の参加者層について、特に子供を対象にして開催してほしい要望があり各方面で検討することとなった。

II. 報告事項

会長・副会長の職務執行報告(宮協会長・大和田副会長)

各業務は各担当者に一任されていることから、会長、副会長より個別の報告は特になく、各担当者から以下の報告がなされた。

1. 第1回定例理事会前開催の委員会報告

【1】JMPS編集委員会報告(吉朝委員長・理事)

吉朝委員長から、2020年9月16日(水) 18:00-19:00に開催された2020年第2回JMPS編集委員会(ZOOM会議)について以下の報告がなされた。

<委員会報告事項>

1. JMPS現状報告(2020年9月16日現在)

- (1) 投稿数状況: 2020年5月24日以降11編投稿: 原著論文6編(インド1編, 中国1編), Letter 2編, リジェクト3編(ベトナム1編, 中国1) 2020年は1月5件, 2月0件, 3月1件, 4月3件, 5月1件, 6月2件, 7月5件, 8月3件, 9月1件で9月までの合計は21件。(2) 編集状況: 早期公開中2編, 印刷中2編, 受理論文5編, 査読中5編, 返却中6編 (3) 発行状況: 115巻3号(6月号) 電子ジャーナルJune 24, 2020公開中, 冊子6月27日発送済, 115巻4号(8月号) 電子ジャーナルAugust 18, 2020公開中, 冊子8月21日発送済, 15巻4号(10月号) 早期公開中2編, 印刷中2編, 受理論文印刷準備中2編, 115巻5号(12月号) 受理論文3編 (4) 2019 JMPS Impact Factor: 0.764 (2018⇒1.472, 2017⇒1.030, 2016⇒0.409, 2015⇒0.648, 2014⇒0.742, 2013⇒0.656, 2012⇒0.589)

2. 委員長提案の説明があった

(1) 次期の執行部，将来企画委員会から提案があがる，赤字体制の是正にむけ，JMPS関連の削減に向けた取り組み，可能性の情報収集と意見のとりまとめ。来年度に向けて，雑誌編集に関する，前向きな意見・提案を求めます。(2) 特集号の希望調査

<委員会審議事項>

1. 3人目の副編集委員長について，河上哲生委員が副委員長として編集委員会で承認された。
2. 平島崇男委員の辞任が編集委員会で承認された。
3. 以下の将来企画委員会からJMPSへの以下の継続審議について引き続き検討する。
 - 1) カラー印刷のあり方：電子ジャーナルpdfカラー化対応，冊子体カラー希望者への対応，カラー印刷代について，2) 冊子体はモノクロ印刷で電子ジャーナルをカラーにする件，3) ページチャージ単価の件，4) ページチャージ割引率30%を15-20%に減額する件
4. その他 コロナ禍で年会開催実施が未定で保留されていたJpGU2020とJAMS2020年オンライン年会のLetter募集について再度審議がなされ，募集することが承認され，早急に募集開始をすることとなった。

報告の後，宮脇会長から印刷業者や編集費などの見直しの要望があった。

IMA小委員会・学術会議報告（大谷委員長）

大谷IMA小委員会委員長から，2020年9月17日(木) 17:45-18:45に開催された2020年第2回IMA小委員会（ZOOM会議）について以下の報告がなされた。

議題：1. 議事録(2020/5/23)の承認，2. IMA関係ビジネス報告，3. IMAコミッション報告，4. 学術会議報告：学術会議24期の終了と第25期への申し送り事項（IMA小委員会が継続される），5. 第25期のIMA小委員会メンバーの継続依頼と交代。小委員会委員長の自薦他薦の件 6. その他：来年の国際会議への派遣費用申請周知と新鉱物について日本からの申請や日本人にちなんだ新鉱物名の情報提供依頼があり，CNMNC(新鉱物命名・分類コミッション)委員が対応することになった。

2. その他幹事，委員会報告，就任挨拶

今期の各幹事から挨拶，報告があった。

(1) 庶務幹事（黒澤正紀理事）

(2) 会員幹事（阿部なつ江理事）

会員獲得のために，女子学生も含め学生会員が一般会員へ継続できるよう，JpGUと連携しながら検討していく。

(3) 会計幹事（栗林貴弘理事）

今期の改革に関係して，今までの会計状況を元に理事会メンバーのご意見を聞きながら担当していく。

(4) 和文誌編集幹事（長瀬敏郎GKK編集委員長，理事）

和文誌の投稿数激減状況について，今後の和文誌のあり方としてGKK編集委員会で検討していく。

(5) 渉外幹事（永蔭真理子理事）

今までの活動を踏襲して担当していく。

(6) 広報幹事（大藤弘明理事）

広報委員の役割の継続と，今後は学会HPについて改善していく。

(7) Elements幹事（森下知晃Elements委員会委員長）

今後も引き続き，日本発信の研究成果や活動を海外に発信していく。

(8) 地惑連合連絡担当（阿部なつ江理事）

JpGU2021で片山郁夫理事がプログラム委員長を担当する。

(9) JpGU年学会選出プログラム委員（門馬綱一委員）

(10) 三鉱連絡委員（黒澤庶務幹事，磯部行事幹事）

(11) 将来企画委員会（大和田正明委員長，副会長）

事務局と雑誌出版の件では将来企画委員会として連携しつつ将来の学会に向けて努力したく，特に若い会員の意見も重視していきたい。

(12) 細則等検討委員会 特務幹事(細則等検討担当)（大和田正明理事，特務幹事）

学会が効率的に円滑に運営できるよう努力し，副会長として会長を支えたい。

(13) 教育普及委員会（林信太郎委員長）

(14) 新鉱物・命名・分類委員会（門馬綱一委員長）

(15) 博物館委員会(坂野靖行委員長)

小河原孝彦新委員を迎え，今後も引き続きIMAのコミッションへ協力していく。

(16) JpGUダイバーシティ推進委員会委員(浜田盛久委員)

これまでと変わらず継続して女性研究者や若手研究者の支援活動に協力していく

3. その他 特になし

【10】閉会

以上の議事を終え，15時00分に閉会した。

上記の決議を明確にするため，出席した会長，副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和2年9月18日

会 長 宮脇 律郎 実印

副会長 大和田 正明 実印

監 事 小暮 敏博 実印